

2 未来を支える人材を育てるまちづくり

子育て

家族形成、子育て、教育、生涯学習、文化・スポーツ など

2-1 子育てしやすい環境をつくる	2-1-1 子育て世代の経済的負担の軽減
	2-1-2 子育て支援環境の充実
2-2 芝山で子どもを生み育てる世帯を 応援する	2-2-1 家族形成の支援
2-3 生きる力を育む学校教育を推進す る	2-3-1 教育内容の充実
	2-3-2 学校教育関連施設の整備
2-4 誰もが生涯にわたり学習できる環 境を整える	2-4-1 生涯学習活動の推進
	2-4-2 生涯学習環境の整備
2-5 誰もがスポーツに親しめる環境を 整える	2-5-1 生涯スポーツの振興
2-6 地域の文化を守り育てる	2-6-1 創造的な文化の振興
	2-6-2 文化財の保存と活用

2-1 子育てしやすい環境をつくる

2.1.1 子育て世代の経済的負担の軽減



めざす姿

経済的理由で出産を躊躇していた夫婦の不安が軽減され、安心して出産・子育てできる家庭が増えています。



現状と課題

- 令和元年（2019 年）10 月に実施した町民意識調査によれば「理想とする子どもの人数」について、「3 人」と回答した割合が全体の過半数を占め最も多いものの、「実際の子どもの人数」については、「2 人」と回答した割合が 39.7%と一番多く、次いで「1 人」と回答した割合が 19.5%という状況でした。加えて、「少子化の要因だと思うこと」に対する回答では、「結婚観等の個人の価値観や意識の変化」が 32.8%と最も多く、次いで「子どもの生活費や教育費が大きな負担になる」が 32.4%となっており、子どもを望んでいるものの、経済的な理由で出産を躊躇している夫婦が数多くいるとみられます。
- こうした中、国は不妊治療への公的医療保険の適用化に向けた取組を進めており、今後その動向を見ながら、出産を希望する世帯への支援を検討していく必要があります。
- 子ども医療費については現状、中学生までの医療費を無償化していますが、周辺自治体が高校生まで範囲を拡大していることから、同等レベルまでの範囲拡大を早期に実施する必要があります。



施策の指標

指標名 【】内は出典	現況値	目標
子育て世代の経済的な負担軽減が図られていると感じる町民の割合 【町民意識調査結果】	27.20% (2020 年度)	↗ (増加)



基本事業の展開

(1) 子育てに関する経済的負担の軽減

子どもの医療費に対する助成や各種手当、出産祝金の支給など、子育て世帯に対する経済的支援を図ります。

主な事業	担当係
出産祝金支給事業 ※p73（施策221）にも掲載	戸籍係
子ども医療助成事業	子育て支援係
学校給食費無償化事業	学校教育係
チャイルドシート購入費助成事業	自治振興係

(2) 経済的困窮家庭への支援

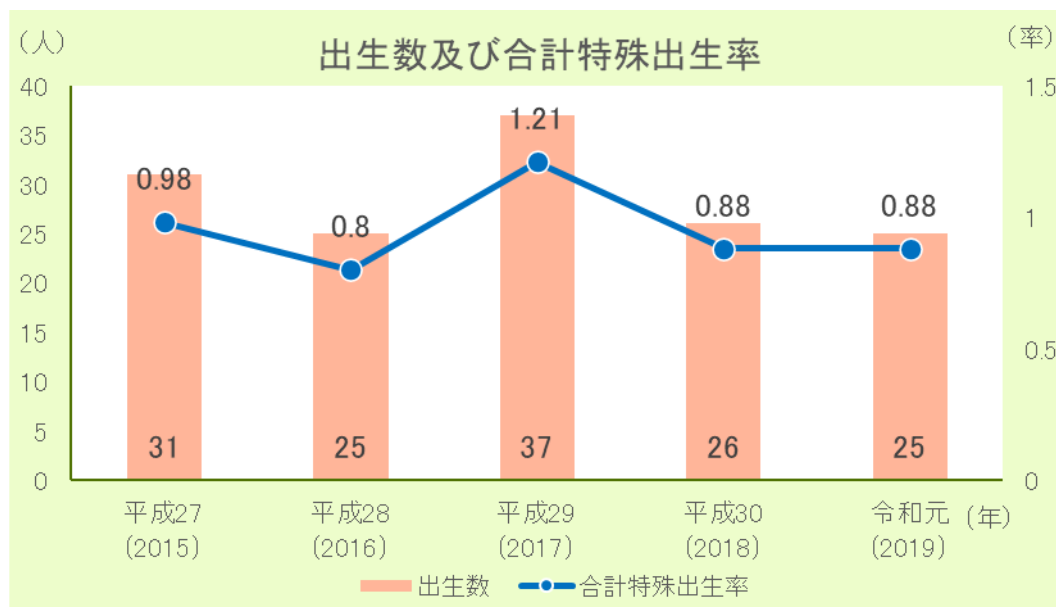
ひとり親家庭への支援を図る一方、経済的困窮家庭への子育てに関する相談や就労に関する相談先の紹介など、総合的な支援を図ります。

主な事業	担当係
ひとり親医療費助成事業	子育て支援係



〔当該施策の関連計画〕

計画名	計画年度 ※西暦
第2期芝山町子ども子育て支援事業計画	2020～2024



212 子育て支援環境の充実



めざす姿

子育てをまちぐるみで支援することで、保護者が子育ての喜びを実感し、子どもたちが健やかに育っています。



現状と課題

- 近年は人口減少、コミュニティの在り方等様々な要因により近隣関係が希薄化、核家族化が進行しており、家族や近所の支えを得られず子育てをする親が増加しています。また、厚生労働省が令和元年（2019年）7月に発表した「男性の育児休業の取得状況と取得促進のための取組について」によると、平成30年度（2018年度）における女性の育休取得率は82.2%と高い水準であるのに対し、男性の育児休業の取得率は、徐々に増加しているとはいえ、6.16%と依然として低い水準であり、依然として育児負担の多くを女性が担っている状況です。
- 芝山町においても、子ども及び子育て家庭が安心して暮らせるよう、これまで「芝山町次世代育成支援行動計画」、「芝山町子ども子育て支援事業計画」を策定し、仕事と子育ての両立に向けた支援に取り組んできました。今後は「第2期子ども子育て支援事業計画」の策定に併せ、子育て支援センターの新たな場所での提供を進めるとともに、令和2年度に設置した子育て世代包括支援センターにおいて、妊娠期から子育て期まで切れ目のない相談支援体制の充実を進めていく必要があります。
- 現在3園ある保育所については、老朽化や保育士不足といった課題に加え、ウィズコロナの新しい生活様式に対応するため、施設の再編が求められています。今後は、芝山町学校教育施設等及び子育て関連施設のあり方検討委員会の議論を踏まえ、保護者のニーズを的確に捉えながら、整備計画を早期に策定する必要があります。



施策の指標

指標名 【】内は出典	現況値	目標
子育てしやすい環境が整っていると感じる市民の割合 【町民意識調査結果】	18.12% (2020年度)	↗ (増加)



第一保育所



基本事業の展開

(1) 子育て支援施設の充実 重点

保健センターの増築により施設整備を行い、子育て支援センターの新たな場所での提供を進めるとともに、子育て世代包括支援センターにおいて妊娠・出産・子育てに関する相談や切れ目のない支援、子育て世帯の交流、仲間づくりの支援、関連情報の提供などを行います。

主な事業	担当係
子育て支援センター事業 ※p73（施策221）にも掲載	子育て支援係
子育て世代包括支援センター事業 ※p73（施策221）にも掲載	保健衛生係 子育て支援係
子ども家庭総合支援拠点整備事業	子育て支援係

(2) 保育の充実

多様化する保育ニーズに対応できるよう、病後児保育の検討などの保育サービスの充実に努めるとともに、子育て関連施設のあり方検討の議論を踏まえた再編に向けて、整備計画の策定を進めます。また、学童保育においては適切な遊びや生活の場を提供し、子どもの健全な育成を図ります。

主な事業	担当係
学童保育事業	子育て支援係
保育所統合事業	子育て支援係



〔当該施策の関連計画〕

計画名	計画年度 ※西暦
第2期芝山町子ども子育て支援事業計画	2020～2024



第二保育所



第三保育所

2-2 芝山で子どもを生み育てる世帯を応援する

2.2.1 家族形成の支援



めざす姿

町内居住者の結婚・出産といった家族形成が進むとともに、町外の方にとっても芝山町が出会いのきっかけ、縁の地となることで、町への転入者が増加しています。



現状と課題

- 町民意識調査（令和元年（2019年）10月）によれば、町に住み続けたいと回答した人は41.9%と過半数を下回る結果となりました。また、国立社会保障・人口問題研究所の人口推移によれば今後5年毎に500人程度の人口が減少すると予想されており、仮に推計どおりに人口減少が進行した場合、町の存続（行政運営）は危機的状況に陥ります。
- 加えて、今後は成田空港の第3滑走路（C滑走路）建設に伴う移転対象者の町外流出も危惧されていることから、既存住民を町内に留めつつ、いかに新規住民を呼び込めるかが課題となっています。
- 本町は以前から結婚相談員の配置や商工会・青年クラブ共催による婚活イベントに対する実施支援を行ってきました。現在は中止していますが、今後若い世代の移住定住につなげるため、結婚支援の重要性はより一層高まっています。
- このため、民間企業によるマッチングアプリ等のノウハウを活用した官民連携型の支援制度の創出やSNSを用いた情報発信等様々なアプローチを検討していく必要があります。
- 新型コロナウイルス感染症対策として大規模なイベント開催等が難しい状況であり、新しい生活様式に対応したオンラインでの取組等について、効果も含めて検証していく必要があります。



施策の指標

指標名 【内は出典】	現況値	目標
中学生以下の子どもがいる世帯数 【担当課調べ】	406 世帯 (2020年4月1日時点)	▲ (増加)



基本事業の展開

(1) 出会いの場の支援 **重点**

結婚を希望する若い世代に対して、お互いにふさわしい相手をみつけ芝山町で新しい生活を送ってもらえるよう、マッチングのノウハウをもつ企業との連携しながら、出会いの場や機会を提供する婚活支援について検討を進めます。

主な事業	担当係
婚活支援事業	企画調整係

(2) 住まいや新生活への支援 **重点**

結婚後、芝山町内で新生活をスタートしたい世帯に対し、移住相談や住宅建設・購入に対する補助、住まいのあっせんなどを行い、若い世代の移住、定住を促進します。

主な事業	担当係
移住相談支援事業	企画調整係
住宅取得支援事業＜再掲＞ ※p43（施策112）にも掲載	企画調整係

(3) 出産への支援 **重点**

町内で新たな世帯を形成し出産を迎える世帯に対して、子育て世代包括支援センターによる妊娠・出産・子育てに関する相談や切れ目のない支援を行うとともに、子育て世代の交流や関連情報の提供、出産祝金の支給などを行い、出産から子育てを安心して行える環境を整備します。

主な事業	担当係
子育て支援センター事業＜再掲＞ ※p71（施策212）にも掲載	子育て支援係
子育て世代包括支援センター事業＜再掲＞ ※p71（施策212）にも掲載	保健衛生係 子育て支援係
出産祝金支給事業＜再掲＞ ※p69（施策211）にも掲載	戸籍係

将来イメージ（小池地区）

※イラストはまちづくりの将来像をイメージしたものです。周辺地権者や関係者の皆様の同意を得たものではないことにご留意ください。



2-3 生きる力を育む学校教育を推進する

231 教育内容の充実



めざす姿

少子高齢化・グローバル化・情報化が急速に進む世の中を、主体性をもって生きていける「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」が育まれています。



現状と課題

- 町では、これまでに電子黒板や書画カメラの全校設置を行う等、積極的に ICT（情報通信技術）教育の整備に取り組むとともに、文科省の GIGA スクール構想に基づき、一人一台のタブレット導入を行いました。また、ICT 支援員を配置し、教員向けの ICT 機器のスキルアップに努めています。
- 今後は、こうした機材を活用し、リモート授業等の新しい学びのあり方や効果的な学習方法について、さらに効果的な学習環境に向けた検討を重ねていく必要があります。
- 外国語教育の充実に向けて、中学生向けの英語検定費用の助成や対策講習等の支援を行っており、今後は、対象範囲を小学生に拡大するとともに、成田空港に近接している特性を生かし、更なるグローバル人材教育に向けた取組を強化する必要があります。
- 学習面や生活面において支援を必要とする児童・生徒のための支援として、学習支援員や介助員の配置等を行っています。今後は、インクルーシブ教育の考え方も取り入れながら、子どもたちが安心して学校生活を過ごせるよう、適切な就学の間を選定し、個々に寄り添ったきめ細やかな支援に取り組む必要があります。
- 子どもたちは町の宝、地域の宝であることから、地域等の結びつきが希薄になりつつある中で、学校・家庭・地域が協働できる体制づくりや意識向上に向けた取組を行う必要があります。



施策の指標

指標名 【】内は出典	現況値	目標
学校に行くことが楽しいと回答した小学生の割合 【学校アンケート調査結果】	90.3% (2020 年度)	↗ (増加)
学校に行くことが楽しいと回答した中学生の割合 【学校アンケート調査結果】	84.6% (2020 年度)	↗ (増加)



基本事業の展開

(1) 教育内容の充実

基礎・基本の確実な定着による学力向上を図るとともに、家庭・地域との連携のもと、心の教育の推進、心身ともに健康で活力ある生活を送ることができる生活習慣の確立を図ります。また、英語教育の推進やICTを活用した学習の推進など、国際社会と渡り合えるような次世代を担うグローバルな人材を育む教育を推進します。奄美市で行う中学生の体験学習や現地の中学生との交流についても引き続き実施します。

主な事業	担当係
英語教育推進事業	学校教育係
学校 ICT 利活用事業	学校教育係
児童生徒の体験活動支援事業	学校教育係

(2) 学校・家庭・地域の一体化の推進

学校・家庭・地域が一体となり、基本的な生活習慣や社会性の育成、いじめ・不登校の対応などを図るとともに、保護者や地域住民の学校運営への参画を促進します。また、地域ぐるみの安全な環境づくりに取り組みます。

主な事業	担当係
学習支援員活用事業	学校教育係

(3) 特別支援教育の充実

障がいの程度に応じた適切な教育指導、交流教育の推進など特別に支援が必要な児童生徒に対する教育を充実します。

主な事業	担当係
障がいのある児童生徒の支援事業	学校教育係

授業風景



232 学校教育関連施設の整備



めざす姿

安全・安心で快適な、子どもたちの教育の場として相応しい空間が確保・維持されるとともに、地域に開かれたシンボリックな施設となっています。



現状と課題

- 芝山町では平成 27 年（2015 年）年 4 月にこれまで 3 つあった小学校を統合したことにより、現在は小中学校が各 1 校となっています。全て新耐震基準を満たした建物となっていますが、小学校は開校以来 50 年が経過し、建替え等を検討する時期に差し掛かっています。中学校についても 23 年余りが経過していることから、改修計画を早期に策定する必要があります。
- 学校給食センターは、築 54 年と、こちらも経年劣化が著しいことから、今後は小学校の建替えと併せて、ドライシステムを導入した親子方式による共同調理場の整備を念頭に計画を策定するとともに、食物アレルギーへの体制等も検討していく必要があります。
- 昭和後期に多く建設された公共施設の老朽化が全国的な課題となっている中、町では、公共施設総合管理計画及び個別施設計画を策定し、多額の費用を要する改修費用等の平準化を進めています。今後の学校関連施設の整備については学校規模の適正化を基本に置きつつ、地域防災の避難所としての役割や、新しい生活様式への対応等様々な観点から整備計画を策定する必要があります。



施策の指標

指標名 【内は出典】	現況値	目標
校舎内外はきれいに整備されていると感じる保護者の割合（小学校） 【学校アンケート調査結果】	93.2% (2020 年)	↗ (増加)
学校の施設・整備は、学習環境の面で満足していると回答した保護者の割合（中学校） 【学校アンケート調査結果】	91.7% (2020 年)	↗ (増加)



基本事業の展開

(1) 学校施設の整備

子どもたちが安心して学び、地域に開かれた学校施設となるよう、計画的な学校施設・設備の整備充実に取り組みます。また、給食センターについても、アレルギー対応や施設の老朽化対策などが必要なことから、学校整備と連動した整備について検討を進めます。

主な事業	担当係
学校教育施設等整備事業	学校教育係



〔当該施策の関連計画〕

計画名	計画年度 ※西暦
芝山町学校教育施設等長寿命化計画(個別施設計画)	2019～2028

芝山小学校



2-4 誰もが生涯にわたり学習できる環境を整える

241 生涯学習活動の推進



めざす姿

より多くの町民が文化・生涯学習活動に取り組み、心豊かに充実した毎日を送るとともに、活動を通じて得た成果や力を地域に生かすことができています。



現状と課題

- 生涯学習活動については、文化・学習活動に取り組む団体の支援や成果の発表に向けた場の提供等を実施していますが、各団体とも担い手不足が深刻となっています。今後は、より一層、情報発信に努める必要があります。
- 幼少期から本に触れる習慣を身につけてもらうため、出生児及び保護者への絵本の読み聞かせと配布（ブックスタート事業）を実施しています。今後も、子どもたちの想像力や語彙力、読解力の向上といった読書がもたらす効果を引き出す支援を続けていく必要があります。
- 町では、公民館等において様々な分野をテーマとした講座等の学習機会を提供していますが、インターネットの普及等により学習の場がバーチャルに移行しつつあり、生涯学習そのものが大きく変化してきています。また、感染症対策が求められる昨今の状況において、こうしたニーズは今後一層高まるものと予想されることから、既存の学習活動の支援に捉われない、新たな取組を検討する必要があります。
- 青少年活動については、少子化の進行や地域での関係の希薄化等、様々な要因により子育て家庭や地域を取り巻く環境が大きく変化しており、今後は、学校・家庭・地域との連携を強化して取組を推進する必要があります。



施策の指標

指標名 【】内は出典	現況値	目標
生涯学習活動に取り組んでいる町民の割合 【町民意識調査結果】	24.96% (2020 年度)	▲ (増加)



基本事業の展開

(1) 生涯学習活動の推進

公民館等において、多様なニーズに対応した学習機会の提供に努めます。また、見学や各種体験学習など興味を持って参加できる取り組みに努めます。また、幼少期から本に触れる習慣を身につけてもらうため、出生児及び保護者への絵本の読み聞かせと配布（ブックスタート事業）を実施します。

主な事業	担当係
ブックスタート事業	社会教育係（公民館）
公民館主催講座開催事業	社会教育係（公民館）

(2) 学習活動の支援

学習活動の支援や学習成果の発表に向けた幅広い学習情報の提供や相談体制の整備を図ります。また、生涯学習活動を推進する団体・グループ活動を支援し、学習機会の拡充を図るとともに、人材の養成と活用に努めます。

主な事業	担当係
文化活動支援事業	社会教育係（公民館）

(3) 青少年活動の促進と家庭の教育力の向上

芝山町と学校・家庭・地域が連携し、子ども会や青少年団体の育成を図り、地域における青少年活動の活性化を支援するとともに、健全な青少年の育成のための環境づくりに努めます。また、学校と地域が連携し、子育てと教育力の向上を支援します。

主な事業	担当係
子ども会・青少年相談員の活動支援事業	社会教育係
生涯学習講座「若竹塾」開催事業	社会教育係

242 生涯学習環境の整備



めざす姿

生涯学習の場として誰もが利用しやすい環境が整い、町民同士の交流や地域づくりに生かされています。



現状と課題

- 町民意識調査（令和元年（2019年）10月）によれば「1年間のうち公民館が行う講座などに参加したことがある割合」は10%と低い数値となっており、魅力的な講座の開催や開催時間の見直し等、利用者増につながる取組を進める必要があります。
- インターネットの普及や本そのものに対する価値観の変化等により「活字離れ」、「図書館離れ」が進んでおり、全国的な課題になっています。
- 芝山町に図書館はありませんが、公民館の一部を図書室として町民に開放しています。しかしながら、利用者層の高齢化、固定化等により利用者数は減少傾向です。一方で、町民意識調査では「図書館を設置してほしい」といった意見も挙げられており、既存施設の利用しにくさも背景にあると考えられます。今後、貸出体制の強化をはじめ、町民が利用しやすい環境整備が求められます。また、町内の「福祉センターやすらぎの里」内にも図書室はあるものの、現在、双方の連携は行われておらず、町民の利便性の観点からも、協働での取組を検討する必要があります。



施策の指標

指標名 【】内は出典	現況値	目標
生涯学習環境が整っていると感じる町民の割合 【町民意識調査結果】	14.52% (2020年度)	↗ (増加)



基本事業の展開

(1) 生涯学習施設の充実

中央公民館の運営充実を図るとともに、図書室については効果的な学習拠点として機能するよう、県立図書館とのネットワーク化による図書サービス機能の充実に努めます。

主な事業	担当係
図書検索システム運用の推進事業	社会教育係（公民館）



公民館事業のようす①



公民館事業のようす②

2-5 誰もがスポーツに親しめる環境を整える

251 生涯スポーツの振興



めざす姿

誰もが気軽にスポーツやレクリエーションを楽しむ環境が整い、心身ともに健康で豊かな生活が送れるようになっています。



現状と課題

- 健康意識の高まりにより、日ごろからスポーツに取り組む人、取り組みたいと思っている人が増えてきています。一方で、人口減少やスポーツ種目の多様化により、特定の種目については、集団で取り組むことが難しくなってきました。
- 今後は、普段の私生活にスポーツを取り入れたいと感じている方の潜在的な需要を掘り起こし、スポーツ団体への加入促進に努めるとともに、気軽にスポーツやレクリエーションに取り組める施設のあり方を検討していく必要があります。



施策の指標

指標名 【】内は出典	現況値	目標
週に1回以上、スポーツをしていると回答した市民の割合 【市民意識調査結果】	18.50% (2020年度)	↗ (増加)



基本事業の展開

(1) スポーツ・レクリエーション活動の推進

町民がいつでも、気軽にスポーツ・レクリエーション活動ができるようスポーツ団体の育成を図り各種教室の拡充に努めるとともに、地域に根ざしたスポーツ・レクリエーション活動の充実に努めます。

主な事業	担当係
スポーツ団体の育成支援事業	社会教育係

(2) スポーツ・レクリエーション施設の充実

スポーツの拠点として総合運動場を位置づけ、町民が利用しやすい施設としての運営に努めます。また、社会体育施設の計画的な修繕を行い、適切な維持管理に努め、既存施設の長寿命化を図ります。

主な事業	担当係
社会体育施設管理事業	社会教育係



空手のようす



カローリングのようす

2-6 地域の文化を守り育てる

261 創造的な文化の振興



めざす姿

芸術文化に親しみ、心豊かな生活を送ることができ、それらを通して町内外の方の交流が活発に行われています。



現状と課題

- 町ではこれまで、気軽に文化芸術に触れる機会を設けるため、芝山文化センターにおいて毎年、小学校芸術鑑賞教室や新春寄席、隔年で、テレビ等で活躍する芸能人によるコンサートを催し、これまで町内外から多くの方に来館いただいています。
- また、ホールの音響性能の高さから近年では、吹奏楽コンクール強豪校も練習に訪れております。
- 施設面では、平成元年（1989 年）に建築された建物であり、30 年を経過し音響設備等をはじめとする各設備の老朽化が著しいことから修繕等を検討する必要があります。また、東日本大震災以降、全国的に問題視されている天井材等の非構造部材の落下防止対策についても早期に対策をとる必要があります。



施策の指標

指標名 【】内は出典	現況値	目標
文化センター利用者数 【担当課調べ】	9,291 人 (2019 年度)	↗ (増加)
気軽に学習・文化活動が行える場があると感じる町民の割合 【町民意識調査結果】	20.78% (2020 年度)	↗ (増加)



基本事業の展開

(1) 芸術・文化活動の推進

文化芸術に触れる機会を提供するため、文化センターの自主企画事業や鑑賞機会の充実に努めます。

主な事業	担当係
文化センター自主事業	文化振興係

(2) 芸術・文化活動拠点の整備

芸術・文化活動の拠点となる文化センターについて、建物の長寿命化を図るため、設備改修を計画的に実施します。

主な事業	担当係
文化センター改修事業	文化振興係



芝山文化センター

文化センターでの公演のようす



262 文化財の保存と活用



めざす姿

町の歴史・文化に触れる機会が増え、町民の郷土への愛着と誇りが高まっています。



現状と課題

- 町内には、県指定文化財 5 件、町指定文化財 14 件、国登録有形文化財 1 件を有しており、各文化財の適正な保存管理に努めています。
- 町立芝山古墳・はにわ博物館では、企画展や体験学習を開催する等気軽に文化財に親しむことができる環境づくりに努めてきました。また、芝山文化センターにおける芸能発表会の開催等民俗芸能の伝承活動をする団体への支援にも取り組んでいます。
- 町には、白枳粉屋おどりやあらい祭りなどの民俗文化財もありますが、高齢化による会員数の減少や後継者不足が課題となっています。次の世代に確実に引き継ぐため早急な対策を講じる必要があります。
- 成田空港の第 3 滑走路（C 滑走路）建設予定地内には、文化財・民俗文化伝承をはじめ、多くの遺跡が含まれていることから、今後、国や県、NAA と協力しながら、地域文化資源の保全や記録の保存に努めていく必要があります。
- 殿塚・姫塚をはじめとする観音教寺所蔵のはにわ等が、町立芝山古墳・はにわ博物館に寄託されたことから、展示内容の充実を図り、より一層「はにわの町芝山」の情報発信に取り組む必要があります。



施策の指標

指標名 【内は出典】	現況値	目標
歴史的な文化財などが適切に保存、活用されていると思う町民の割合 【町民意識調査結果】	42.37% (2020 年度)	↗ (増加)



芝山古墳・はにわ博物館



基本事業の展開

(1) 町立芝山古墳・はにわ博物館の充実

「はにわの町芝山」のアピールや郷土学習の場として活用できるよう、常設展・企画展の充実や普及事業に努めます。また、企画展にあたっては、大学等関係機関との連携により特色ある事業実施を図ります。

主な事業	担当係
町立芝山古墳・はにわ博物館の常設展の充実と企画展の開催事業	文化振興係

(2) 歴史文化資源の保護・活用

祭りや民俗文化財、年中行事など歴史文化資源を通して郷土への理解を深めるとともに、観光交流と結びつけた活用を研究します。

主な事業	担当係
民俗文化財団体への支援事業	文化振興係
文化財保護活用事業	文化振興係
旧藪家住宅改修事業	文化振興係

町内の文化財一覧

No.	指定	類別	文化財名	員数	現所在地 ・ 伝承地	所有者・伝承者 (管理責任者)	指定・ 登録日
1	県	有形	観音教寺三重塔	1 基	芝山 298	観音教寺	S31.7.13
2	県	無形民俗	白桝粉屋おどり	—	大里 (白桝地区)	白桝粉屋 おどり保存会	S43.4.9
3	県	有形	芝山古墳群 (殿塚・姫塚) 出土埴輪	9 点	芝山 438-1	観音教寺 (町立博物館寄託)	S46.3.26
4	県	有形	旧藪家住宅	1 棟	芝山 414-1	芝山町	S49.3.19
5	県	有形	庄作遺跡出土の墨書土器資料群	一括	芝山 438-1	芝山町	H22.3.19
1	町	有形	称名寺阿彌陀如来坐像	1 軀	新井田 785	称名寺	S51.4.20
2	町	有形	観音教寺仁王尊像	2 軀	芝山 298	観音教寺	S51.4.20
3	町	有形	朗海上人の板碑	1 基	芝山 298	観音教寺	S51.4.20
4	町	有形	双口土器	1 個	芝山 438-1	芝山町	S51.4.20
5	町	有形	鮭のはにわ	1 個	芝山 438-1	観音教寺 (町立博物館寄託)	S51.4.20
6	町	天然記念物	普賢院の槇の木	1 樹	大里 1386	普賢院	S51.4.20
7	町	有形	芝山象嵌の扁額	1 面	芝山 438-1	芝山町	S53.10.2
8	町	史跡	国会開設の先覚者桜井静の墓碑	1 基	小池字丸千代	個人	S55.2.15
9	町	有形	徳蔵寺本尊坐像	1 軀	飯櫃 172	徳蔵寺	S55.12.20
10	町	天然記念物	熊野神社の榎の木	1 樹	殿部田 811	熊野神社	S55.12.20
11	町	天然記念物	上吹入の杉と椎の双体樹	2 樹	上吹入字稽古	個人	S55.12.20
12	町	無形民俗	神楽獅子 (殿部田のお囃子)	—	殿部田区	殿部田お囃子保存会	H3.6.3
13	町	天然記念物	相馬高神社本殿脇の大杉	1 樹	上吹入 353	相馬高神社氏子	H9.2.5
14	町	有形	聖観世音菩薩立像	1 軀	大里 197	承天寺	H26.9.12

< 以下は国登録有形文化財 >

1	国	有形	伊東家住宅主屋	1 件	小池 1000	個人	R2.8.17
---	---	----	---------	-----	---------	----	---------

